

地域需要創造型等起業・創業促進補助金採択者事例

内田 真吾 (うちだ しんご) 氏 【地域需要創造型起業・創業】(島根県)

地元の魚介類を使ったデリカテッセンを通し、新しいライフスタイルを提案

【事業テーマ】ブルックリンをイメージしたダイニングバーの開業

【設立日】平成 25年9月26日

【創業の場所】島根県出雲市

【創業を志した経緯・きっかけはなんですか？】

生まれ育った出雲市に今までにないスタイルの店を作りたく、約10年飲食店に勤務してきたが、ようやく自分の料理に自信がついたのと、ずっとやりたかった店のイメージが完成した。

自分はアメリカの自由な発想が好きで、料理も色々な文化がミックスされていてオリジナルなものが多い為、中でもブルックリンは意欲のある若者達が楽しみながら自分達のやりたい事にチャレンジし、新しいものを作り上げていっている。

この意識に共感されたので出雲にもこんな場所が作れたらと思い創業計画に至った。

起業することで色々な人と知り合えるし、自分の料理を食べてもらいたい。

【事業の独創性と今後の展望について教えてください！】

- ・ 地元の魚介類をメインに使ったフレッシュな燻製(冷燻で生で食べれるもの)をうりにし、店内での飲食はもちろん、テイクアウトができ、料理の説明などを対面販売によってお客さんとのコミュニケーションを図る。
- ・ そうざい製造業ができる施設を作り、店とインターネットで販売したい。

【創業補助金活用のために支援を受けた機関】

(認定支援機関) 島根中央信用金庫 本店営業部

(支援内容) 事業計画策定支援、計画の進捗状況のモニタリング

